

【学校教育目標】知・徳・体の調和がとれ、主体的・協働的に行動できる子どもの育成



学校だより

鈴鹿市立愛宕小学校

令和6年3月12日

No. 31



6年生を送る会 ～6年生の皆さん、今までありがとう！～

2月28日（水）2限目から業間休みにかけて、「6年生を送る会」を行いました。

1年間、愛宕小学校の教育活動をご支援いただいた学習支援ボランティアの方々も、感謝の気持ちをこめてご招待させていただきました。

各学年ごとの出し物では、お世話になった6年生に合唱や合奏、寸劇などを披露しました。どの学年も、6年生への感謝の思いがしっかり伝わる心のこもった内容でした。6年生の子どもたちは、穏やかな笑顔で在校生の出し物を見守ってくれました。

全学年の出し物が終わると、6年生から5年生に「伝統のバトン」を受け継ぐ儀式がありました。全校児童が見守る中、6年生代表児童から5年生代表児童に「思いやり」「団結」「挑戦」と書かれた大きなバトンを渡しました。今後は、6年生が大切にしてきたこの3つの思いを5年生がしっかりと引継ぎ、愛宕小学校を引っ張ってくれることと思います。

最後に、6年生が在校生にお礼の気持ちを込めて、卒業式で歌う「旅立ちの時」を歌いました。堂々とした歌声が体育館に響き、感動しました。

この会の実施にあたり、自分たちで主体的に計画や準備、当日の司会進行をした5年生も大変立派な活動ぶりでした。

プログラム

六年生を送る会

1.のあて

- ・在校生と6年生との楽しい思い出を作る。
- ・お世話になった6年生に「ありがとう」の気持ちを伝える。

2.日時

2月28日（水）

3.内容

- | | |
|-------------------------------|------------------------------------|
| ①卒業生入場 | ⑦三年生
「カント」ロード |
| ②はじめの言葉 | ⑧四年生
「卒業生に送る
栄光の祭壇」 |
| ③プレゼント紹介 | ⑨五年生
「六年生に感謝を込めて
-世界からありがとう」 |
| ④校歌 | ⑩六年生の歌 |
| ⑤一年生
「ありがとう
わたしたちのスター☆」 | ⑪六年生退場 |
| ⑥二年生
「いつもいつも
ありがとう」 | |

お花のアーチを
くぐって入場



1年生の出し物

1年生が作ったペンダント



2年生の出し物



3年生の出し物



4年生の出し物

5年生の出し物



◆職員研修(2月7日)「第2回子どもレポート研修会」

この取組は、年に2回実施しており、1回目(学校だより第13号で紹介)は、7月31日に実施しました。温かい学級づくり、仲間づくりを行う上で、学級課題や改善に向けた取組について話し合いました。

今回は2回目で、1回目同様に、人権教育アドバイザーの白杵伸子先生(元一ノ宮小学校校長)を招聘し、1年間の取組や子どもたちの様子(変容)を報告し合い、学級課題の改善につながったのか、取組内容の検証を中心に話し合いました。

白杵先生からは「(今日の研修会で)教師は、子どもの何を見ていかなければいけないかが浮き彫りになった。そして、動かない価値観が(その子に)どうして形成されたのかを見ていくと、今何をすべきかが分かってくる」という助言をいただきました。教員自身が、子どもの言動の奥にある子どもの思いに寄り添いながら個々の子どもたちを支え、子どもと子どもを繋げていくことが大切だということを、改めて強く感じました。